

# BUNBUN Funabashi.

ぶ ん ぶ ん

ふ な ば し

第 14 号

年 6 回 発行

無料

2021 年 5 月 31 日 発行  
発行 船橋市文化振興推進協議会  
TEL 047-436-2894

2021  
6月~  
7月

懐かしの音で  
ほっと一息。



市教育委員会と文化施設のイベント情報を  
ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー！

市民文化ホール/きららホール/郷土資料館/飛ノ台史跡公園博物館  
市民ギャラリー・茶華道センター/アンデルセン公園子ども美術館 ほか

WEB 版



R70  
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

6つの施設が毎号交替でイチオン情報をお届けします。第14号（6,7月号）の担当は郷土資料館です。詳しくは4ページへ！GO！

# 各施設からのお知らせ

「手洗い・手指消毒」「マスクの着用」「3つの密の回避」等、感染予防にご協力をお願いします。  
\*イベント情報は令和3年5月末時点です。新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。



## きららホール

TEL 047-423-7261

### いっしょにいるだけで ～猫と母と私のいとしき日々～

【日時】6月19日(土) 15:00開演(14:15開場)

【出演】森下典子〈エッセイスト〉、小川桃子〈声優・俳優〉  
坪井美香〈俳優〉、黒田京子〈音楽家・ピアニスト〉

【料金】一般 2,000円、友の会会員 1,700円、高校生以下 1,000円、ペアチケット 3,600円



### アフタヌーンコンサート 世界の心弾む音楽～溢れるヴァイオリンとピアノの音色～

【日時】7月17日(土) 14:00開演(13:15開場)

【出演】尼崎有実子〈ヴァイオリン〉、野原舞花〈ピアノ〉

【料金】一般 1,000円、高校生以下 500円

### ちょっと よりみちライブ vol.198 桃瀬茉莉の「心を癒すヒーリング・ジャズの時間」 ～美しいメロディで描く情景の見えるオリジナル曲集～ **受付終了**

【日時】6月17日(木) 18:30開演(17:45開場)

【出演】桃瀬茉莉〈ピアノ〉、長谷川ガク〈ドラム〉、工藤精〈ベース〉

【料金】無料(事前申込制、5/21(金)～) ※申込開始日の受付は10時～



### ちょっと よりみちライブ vol.199 DAICHI ウクレレソロライブ

【日時】7月15日(木) 18:30開演(17:45開場)

【出演】DAICHI〈ウクレレ〉

【料金】無料(事前申込制、6/18(金)～) ※申込開始日の受付は10時～



## 市民ギャラリー

TEL 047-420-2111

### 市民ギャラリー利用者向け講座『展覧会をやってみよう!』

①講座「展覧会の作り方/楽しみ方」

【日時】6月2日(水) 10:30～12:00

②実技講座「自分の作品を市民ギャラリーに展示してみよう」

【日時】6月2日(水) 13:00～16:00

※6月3日(木)～6日(日) 実習の成果を展覧会として発表します。



令和元年度の様子

### 第8回ふなばし現代アート展「アラカルト」

【会期】7月27日(火)～8月8日(日)

10:00～19:00 ※最終日のみ16:00まで



## 市民文化ホール

TEL 047-434-5555

### 第39回ふなばし市民寄席

#### 春風亭小朝・春風亭昇太二人会 **完売しました**

【日時】6月30日(水) 13:30開演(12:45開場)

【出演】春風亭小朝、春風亭昇太

【料金】一般 3,800円、友の会会員 3,500円

### ベートーヴェン生誕250年(プラス1年)記念コンサート

#### 實川風&後藤真美&本庄篤子 with リマト室内合奏団による 「ベートーヴェン ～クラシック音楽の系譜」

【日時】7月3日(土) 14:00開演(13:15開場)

【出演】實川風〈ピアノ〉、後藤真美〈ソプラノ〉

本庄篤子〈ヴァイオリンソロ・コンサートマスター〉、リマト室内合奏団

【料金】一般 3,500円、友の会会員 3,100円、高校生以下 1,000円、ペアチケット 6,400円



## 6・7月休館日

■市民文化ホール・郷土資料館  
飛ノ台史跡公園博物館  
… 毎週月曜日

■きららホール  
…6/28・7/26

■ふなばしアンデルセン公園子ども美術館  
…7/26以外の月曜日

■西図書館  
…6/10・28・7/26



## 郷土資料館

TEL 047-465-9680

### 国際博物館の日記念ミニ展示「船橋のおみせ」

【会期】5月15日（土）～7月30日（金）9:00～17:00

※展示資料入替のため、最終日は15:00まで

【会場】郷土資料館2階展示室 通史展示 近現代コーナー



昭和50年の国鉄津田沼駅前  
(手塚博禮氏撮影)

郷土資料館は、市内の商店から寄贈された資料や、かつての商店の様子が記録された写真等を収蔵しており、今回の展示では一部を公開いたします。

現在、市内の商店は「コロナ禍」の長期化による影響を受けています。この展示を通じて、身近な商店や商店街に目を向けてみませんか？



## 飛ノ台史跡公園博物館

TEL 047-495-1325

### 第20回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし とびはくにもぐろう！ ～縄文時代と対話する～

【会期】7月18日（日）～8月29日（日）9:00～17:00

※最終日は15:00まで

とびはくでは、例年夏休み期間に『縄文コンテンポラリー展 in ふなばし』という展示会を行っています。これは、縄文遺物からインスピレーションを受けたアーティストたちの作品を、史跡公園や館内に展示するというものです。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で実施することができませんでしたので、今年度は2年分の力を注いで、素敵な展示にすべく準備をしています。記念すべき第20回目のテーマは「縄文時代と対話する」です。どのような作品が登場するのか、皆さんも楽しみにしてください。

なお、夏休み期間中を中心に、事前申込み制の有料ワークショップを行います。そちらはホームページや広報ふなばしに情報を掲載しますのでご確認ください。



令和元年度  
第19回の展示の様子



## 西図書館

TEL 047-431-4385

### 西図書館ギャラリー展示

#### 「文豪・佐藤春夫と太宰～船橋時代に出会った師弟～」

【会期】6月12日（土）～9月26日（日）

【会場】西図書館 2F ギャラリー

昭和10年～11年の間に船橋で暮らしていた太宰治と、その期間に出会った師の佐藤春夫について師弟関係を中心に当時の交友関係、作品について紹介します。直筆書簡についても展示予定。



## ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館

TEL 047-457-6661

### 企画展「日本画でえがくわくわく動物図鑑」 早野恵美

【会期】5月29日（土）～7月11日（日）9:30～16:00 ※土日・6月15日は17:00まで

【会場】子ども美術館 展示室1・2、エントランスホール

「あ」から始まる動物はなあに？「い」から始まる動物は？…日本画技法で表現されたカラフルな動物たちが50音まで続きます。まるで動物図鑑から飛びでたよう。さあ！作品と一緒に図鑑をめくってみましょう。

### 企画展ワークショップ「世界にひとつだけの「ゆらゆらモビール」

#### —日本画の絵の具も使って作ってみよう！—

【日時】7月10日（土）、7月11日（日） ①10:30～12:30 / ②13:30～15:30

【会場】子ども美術館 談話室

【講師】早野恵美（美術家） 【定員】各回10人

【費用】500円 【対象】幼児から中学生まで ※小学3年生以下は保護者同伴

【申込】6月1日（火）から電話（047-457-6661）で受付

用意された2つのパーツの真ん中に、大小いろいろな「カタチ」の木っ端を自由に重ね合わせてひとつの「カタチ」をつくります。不思議！何かに見えてくる。自分の好きな生き物？大切にしているもの？そこで3つのパーツの出来上がり！それぞれをつなぎ合わせて世界にたったひとつのオリジナルモビールを完成させましょう。



## Interview

## 「よみがえったオルガンの音は、あたたかかった」

実際に演奏を行った、郷土資料館の栗原薫子館長に話を聞いてみました。

—修理されたオルガンを弾いてみての第一印象は？

「修理の際に『これは難しい』とオルガン技師さんから言われていたので、まずは『よくぞ直ってくれた！』ですね。そして実際に弾いてみて、音色にあたたかみを感じました」

—この楽器の来歴のせいでしょか、初めて聞くのどこか懐かしさを感じました。

「戦中、戦後の日本の音楽教育に貢献した、現存する数少ないうちの1台です。電子機器を一切使わない音色が、どこか懐かしさを感じるでしょう」

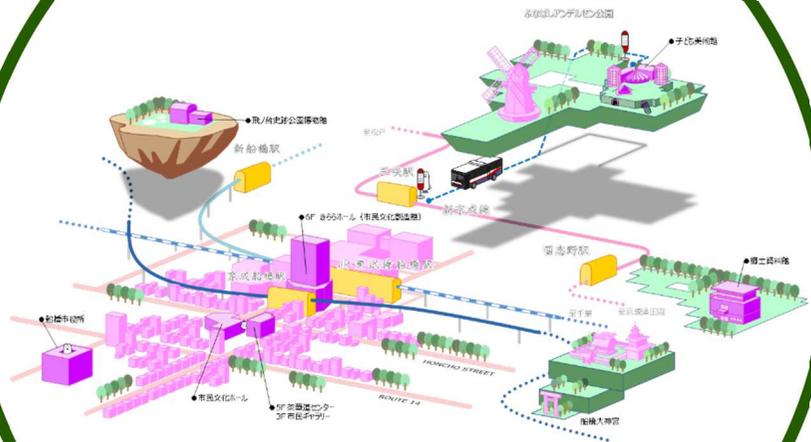
—今後、どのように活用していきたいと考えますか？

「このオルガンは郷土資料、歴史資料であると同時に、現役復帰した一つの楽器でもあります。ですから、この音色で育った人にも、また電子音に慣れた子供たちにも、一人でも多くの方々に演奏を聞いてもらいたいですね」



インタビュー風景  
(左:栗原館長、右:郷土資料館担当者)

## BUNBUN Map



## 「“BUNBUN”ってどんな意味？」

ブンブンと飛び回って蜜を集めるミツバチの様に、船橋の文化施設を巡り“楽しい”を身近に感じてもらうという思いを込めて名付けました。

# Pick up!!

## よみがえったオルガンの音色

表紙写真のオルガンは、太平洋戦争末期の昭和19年4月から20年3月(1944~45)に船橋市の通称花輪台(現東船橋6丁目)に存在した「東京都花輪戦時疎開学園」で使われていたものです。この疎開学園に、東京都神田区(現千代田区北部)の26名の女子児童たちが親元を離れて疎開し、生活や勉強を共にしていました。



近くの宮本国民学校の青木悦子先生は、頼まれて1週間に1度、花輪学園でオルガンを使って音楽を指導することになりました。その縁から、宮本国民学校4年の女子が花輪学園を訪れることとなり、青木先生のオルガンの伴奏と一緒に歌を歌ったり、お手玉やおはじきをして遊んだりして、交流を深めていったそうです。徐々に花輪学園を訪れる児童の数も増え、先生たちの間にも暖かな交流が生まれました。

昭和19年末ごろになると空襲が激しくなり、船橋も安全な場所ではなくなりました。昭和20年3月ごろ、花輪学園の児童たちは埼玉県柏崎村(現さいたま市)へ移ることになり、花輪戦時疎開学園は、幕を閉じることになりました。しかしその後しばらくは、先生と児童たちの交流は続いたそうです。



ボタンを押すことで音色を変更できます。

戦争末期の殺伐とした時期に、花輪学園を中心に花開いた友情の証として、この度、当館では再び美しい音色が響くように修復を行い、展示することといたしました。



このオルガンの演奏風景はYouTube動画「ふなばし生涯学習チャンネル」にて動画を公開しております。是非、ご視聴ください！